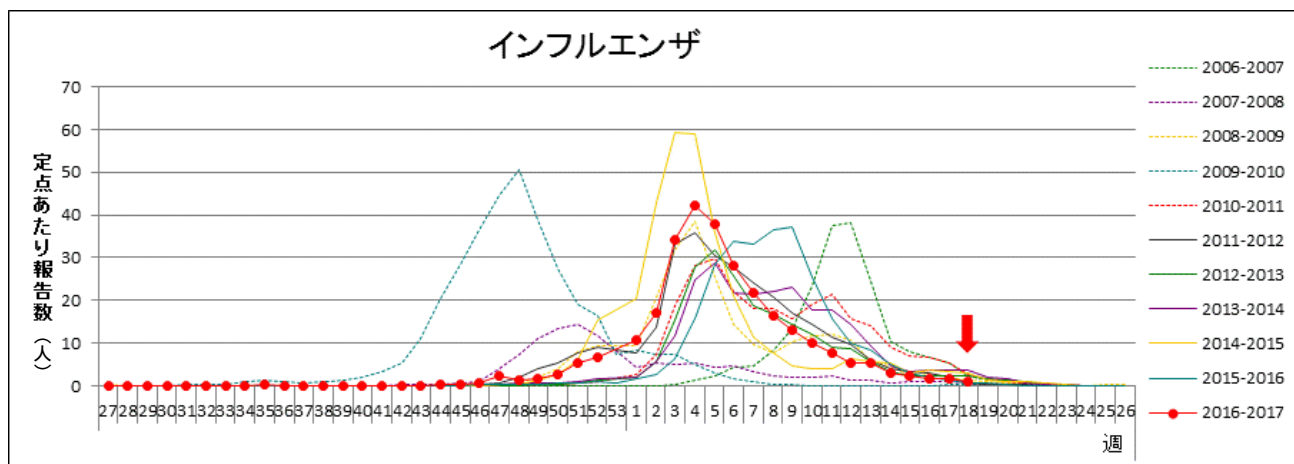


インフルエンザ週報 2017年 第18週 (5月1日～5月7日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で86名（定点あたり1.02人）の報告がありました（84定点医療機関報告）。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、ありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者2名の報告がありました。



インフルエンザは、県全体で86名（定点あたり1.51 → 1.02人）の報告があり、前週よりわずかに減少しました。地域別では、倉敷市（1.88人）、岡山市（1.64人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。多くの地域で患者が減少していますが、倉敷市（1.13 → 1.88人）では、前週より増加しました。

流行は終息に向かっているものの、依然として患者の発生はつづいています。そのため、岡山県はひきつづき『インフルエンザ注意報』を発令し、広く注意を呼びかけています。『外出後や食事前の手洗いを徹底する』『人混みでは、マスクを着用する』『十分な睡眠をとる』など、感染予防に努めてください。また、症状のある方は早めに医療機関を受診しましょう。

[インフルエンザQ&A（厚生労働省）](#)

[平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について（厚生労働省）](#)

**◆インフルエンザは、まだ流行がつづいています。
ひきつづき感染予防に努めましょう。**

【 予 防 】

- * 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- * 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- * 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- * 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度（50～60％）を保ちましょう。

【 かかったかな？ という時には 】

- * 早めに医療機関を受診しましょう。
- * 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。
- * 周りの人にうつさないように、『**咳エチケット**』を心がけましょう。

1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	86	▲	備 中	患者数	10	▲
	定点あたり	1.02			定点あたり	0.83	
岡山市	患者数	36	▲	備 北	患者数	0	▼
	定点あたり	1.64			定点あたり	0.00	
倉敷市	患者数	30	▲	真 庭	患者数	0	▼
	定点あたり	1.88			定点あたり	0.00	
備 前	患者数	6	▼	美 作	患者数	4	▼
	定点あたり	0.40			定点あたり	0.40	

【記号の説明】 前週からの推移 ▲：大幅な増加 ▲：増加 ➡：ほぼ増減なし ▼：大幅な減少 ▼：減少
 大幅：前週比 100%以上の増減 増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

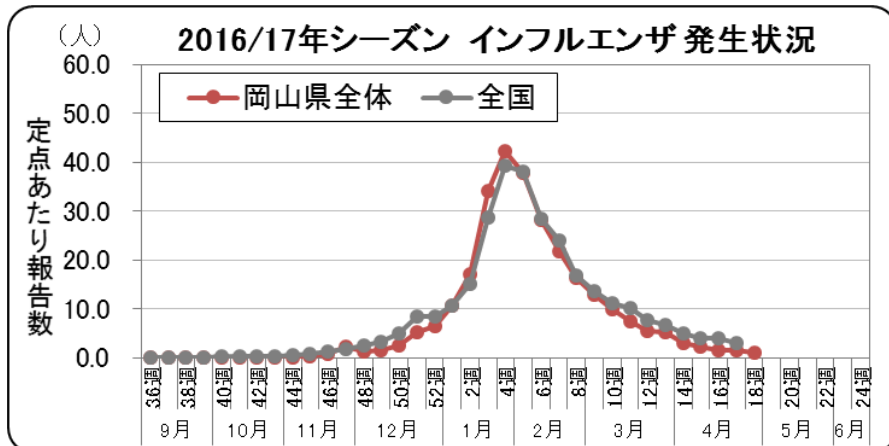
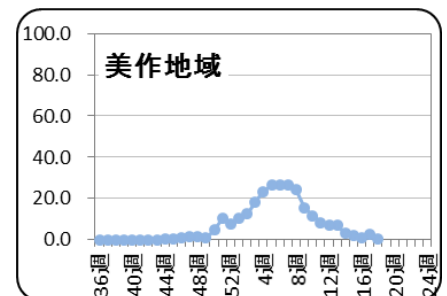
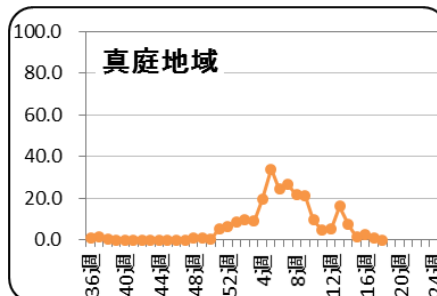
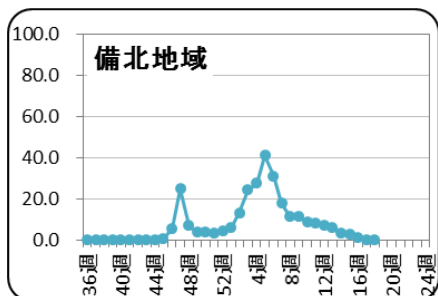
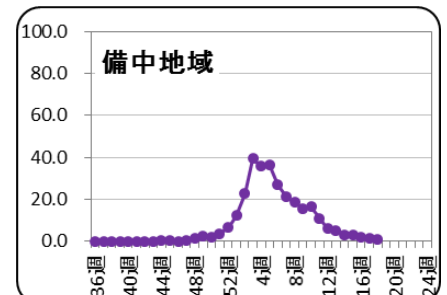
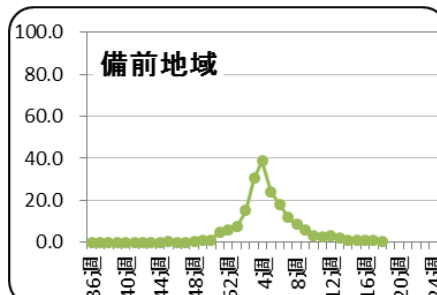
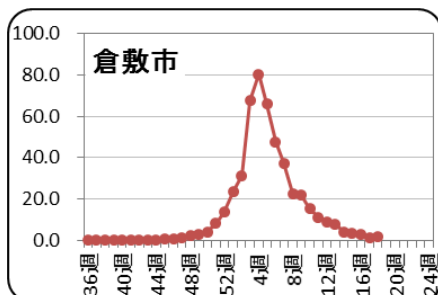
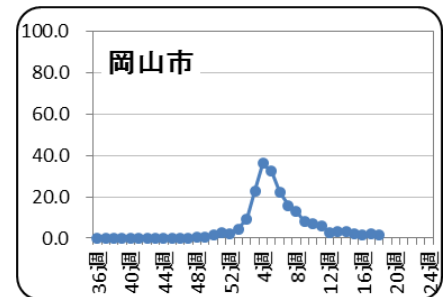
インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満

レベル1	報告なし
基準値	基準値
0 < 10 未満	0

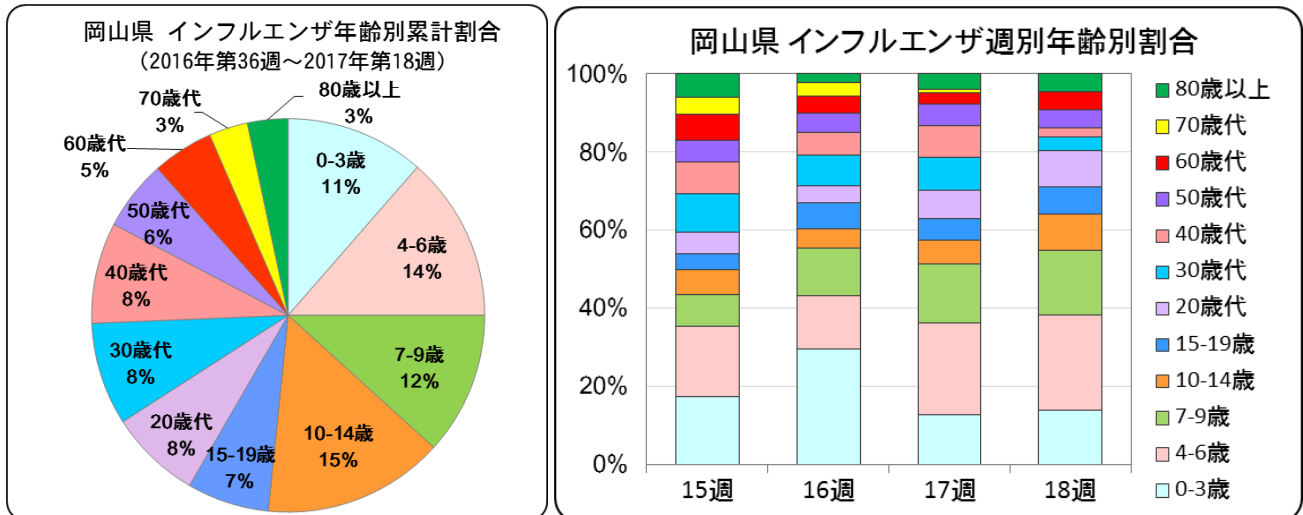


全国集計第 17 週（4/24～4/30）
 速報値によると、全国の定点あたり報告数は 3.13 人となり、前週（4.06 人）より減少しました。都道府県別では、沖縄県（9.44 人）、北海道（7.23 人）、新潟県（7.13 人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、3 県で前週よりも増加がみられました。

[インフルエンザの発生状況について](#)
 （厚生労働省）

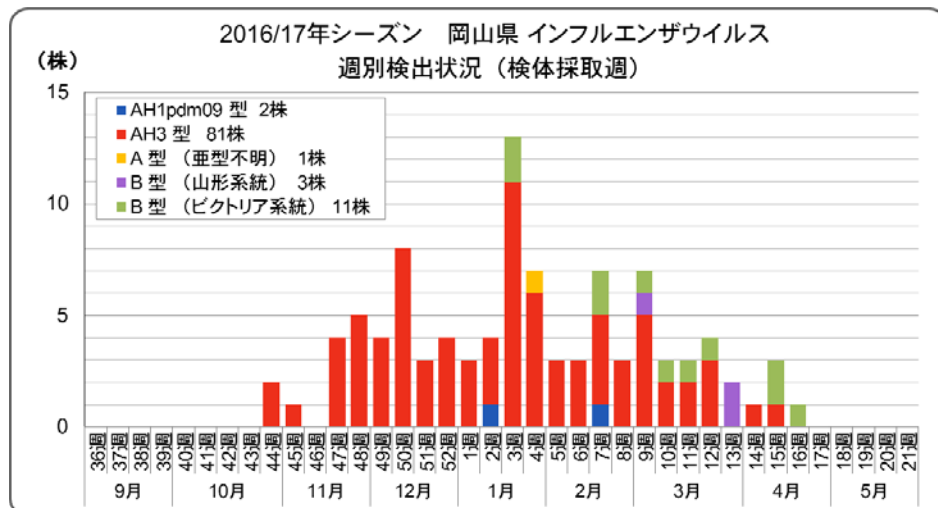
2. 年齢別発生状況

今シーズンの年齢別累計割合は、10-14歳 15%、4-6歳 14%、7-9歳 12%の順で高くなっています。



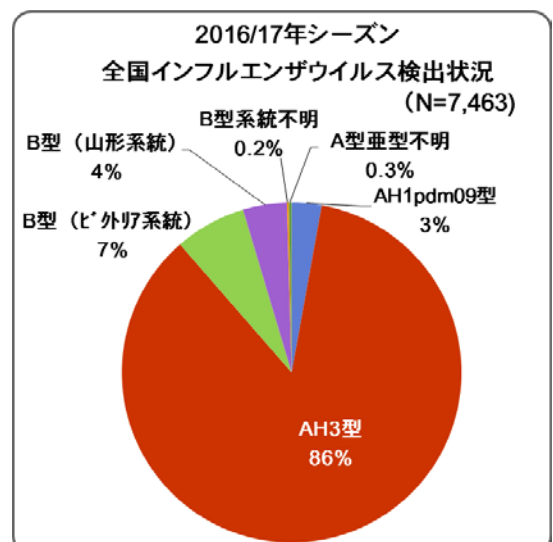
3. インフルエンザウイルス検出状況

第18週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、ありませんでした。今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは98株で、その内訳は、AH3型 81株 (83%)、B型 14株 [ビクトリア系統 11株・山形系統 3株] (14%)、AH1pdm09型 2株 (2%)、A型 (亜型不明) 1株 (1%) となっています。



今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型 86%、B型 11% [ビクトリア系統 7%・山形系統 4%]、AH1pdm09型 3%の順となっています。

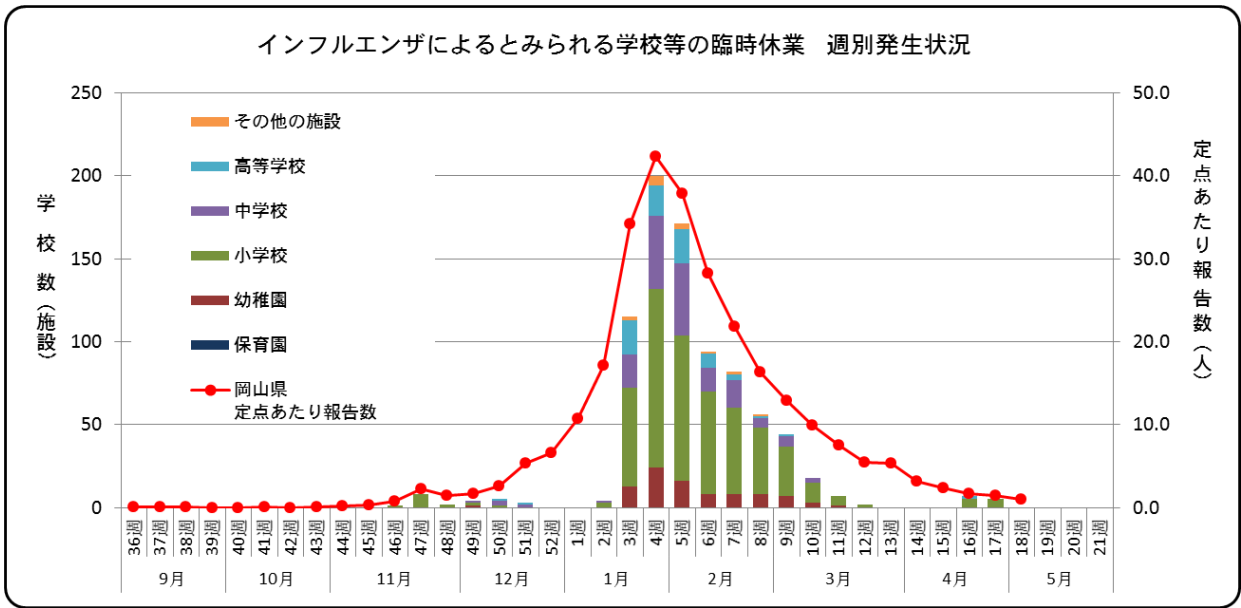
(2017年5月2日現在)



[インフルエンザウイルス分離・検出速報 \(国立感染症研究所\)](#)

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、ありませんでした。



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	0	12473	0	9470	0	829	0	13	0	203	0	613	H28.11.2
岡山市	0	4589	0	3407	0	283	0	4	0	31	0	248	H28.12.12
倉敷市	0	3177	0	2472	0	203	—	—	0	22	0	181	H28.11.29
備前地域	0	1555	0	1235	0	112	0	1	0	41	0	70	H28.12.12
備中地域	0	1514	0	1146	0	103	0	1	0	43	0	59	H28.11.2
備北地域	0	587	0	403	0	43	0	4	0	21	0	18	H28.11.21
真庭地域	0	150	0	120	0	18	—	—	0	12	0	6	H29.1.16
美作地域	0	901	0	687	0	67	0	3	0	33	0	31	H28.11.16

2) 臨時休業施設数の内訳

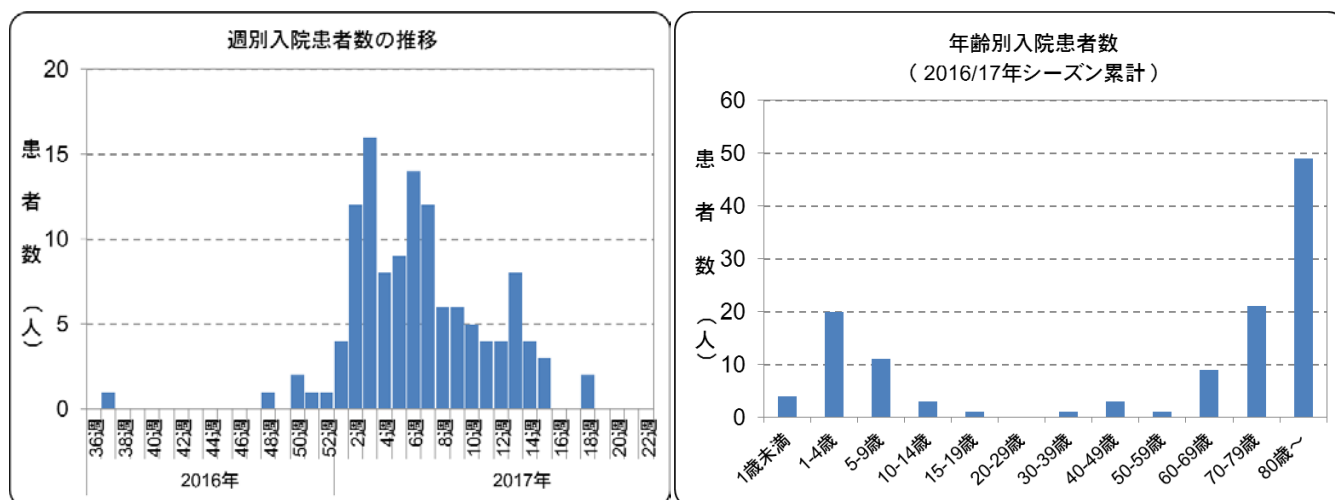
第 18 週：0 施設 累計：829 施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	0	89	0	486	0	160	0	79	0	15

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、2 名（80 歳以上）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 18 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数												2	2
ICU 入室 *													
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *												2	2
頭部 MRI 検査(予定含) *													
脳波検査 (予定含) *													
いずれにも該当せず													

* 重複あり

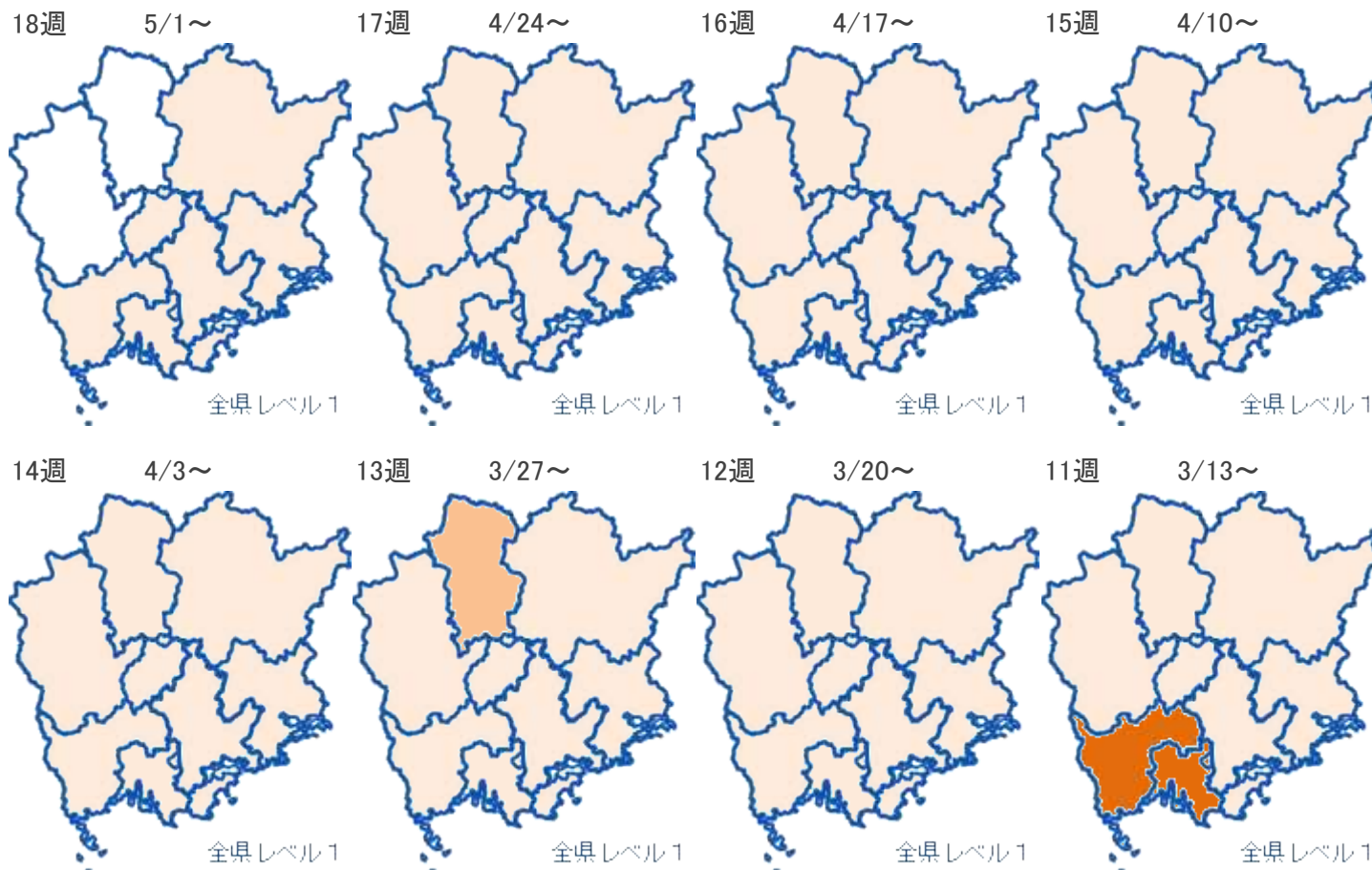
【2016 年 9 月 5 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	4	20	11	3	1		1	3	1	9	21	49	123
ICU 入室 *			2								1	1	4
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *		1	3					1		2	4	15	26
頭部 MRI 検査(予定含) *		3	3								1	2	9
脳波検査 (予定含) *		1	2										3
いずれにも該当せず	4	16	8	3	1		1	2	1	7	17	34	94

* 重複あり



インフルエンザ



レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。